



ウィンター節電チャレンジ結果発表!

~昨年と比べて、15,467kWh (削減率 23.8%) の節電となりました~

節電の取組結果を発表!

全体の削減量 15,467kWh
全体の削減率 : 23.8%

[節電方法トップ5]

順位	取組内容	取組割合
1	エアコンの使用削減・温度調整	11.1%
1	部屋の消灯を心がける	11.1%
3	コンセントをこまめに抜く	9.0%
4	電気カーペット・電気毛布の使用をやめる	7.6%
5	石油ストーブや石油コンロの利用	6.3%

市民のみなさんの節電への取組みを応援する「ウィンター節電チャレンジ」(平成24年1月と2月の電気使用量の削減率が昨年同月比で10%以上を達成した世帯を対象)を実施したところ、41世帯からの応募をいただきました。節電にチャレンジされたみなさんの「電気使用量の削減率」(前年比)や「節電方法」などの取組結果を発表します。

その他特色のある節電の取組には、次のような項目がありました。

- 使用する冷蔵庫やトイレの数を減らした。
- 木炭・消炭(お風呂の残り火を消したものを)を火鉢に入れ使用した。
- 薪ストーブを新たに導入し、調理などに使用した。
- 出窓からの冷気を防ぐため、プチプチシートを貼り付けた。
- 子ども(孫)も参加し、こまめに照明やコンセントを抜き、一部屋生活を心がけた。
- 暖かい日は、健康づくりも兼ねてウォーキングに出かけた。
- 子どもとたくさん遊んで体をいっぱい動かした。

◎環境政策課(氷上庁舎内)
☎82・1290

市長からのメッセージ 【こちら市長執務室】



祝!「丹波出会いサポートセンター」成婚カップル第1号

2月25日、「丹波出会いサポートセンター」発足以来第1号の成婚カップルを祝う催しに出席しました。これからも同センター通して多くの良縁が誕生しますこと、大いに期待します。



昨年3月11日に発生しました東日本大震災は、一瞬にして日常の生活を奪い去り、今なお多くの人々が避難生活を強いられております。

私は、震災直後に被災地に赴き、まちの状況を目の当たりにして、「行政の最大の責務は、市民の生命と暮らしを守ること」であると強く認識し、だれもが安心して暮らせる社会を築きあげようという決意を新たにいたしました。

そこで、平成24年度の施政のテーマを、「安心な暮らし」としました。そして、この安心な暮らしの実現のため、中長期的な展望に立ち、次の3つを柱に、丹波市の未来図をデザインして参ります。

「テーマ」施政方針「安心な暮らし」をテーマに

第1は、「安心社会をデザインするまち」、第2は、「情報発信をデザインするまち」、第3は、「循環型社会をデザインするまち」です。「デザイン」とは、ものをつくりサービスを提供するということだけではなく、絆がより強く広がるまちをつくり上げていくことであります。はじめに「安心社会をデザインするまち」です。市民が不安なく、心がやすらぎ、健康で安心して暮らせるまちの実現は、市政の根幹をなす重要な課題であります。丹波市自治基本条例においても、「市民が相互に助け合う互助の精神をもち、支え合う社会を築く

ことによって、安心な社会の実現をめざしていく」としたところで。

まず、多発する災害において、安全・安心な生活を守るセーフティネットの更なる充実を図ります。また、市民、特に子どもや高齢者が安心して暮らせるよう地域医療体制の充実を図ること、また、子どもや若者の社会的自立を支援する「こども・若者育成支援相談事業」や、バリアフリーを目的とする「高齢者住宅改修助成事業」、さらには、不安定な社会経済情勢の中で雇用確保のための企業誘致を積極的に進めて参ります。

防災対策では、事前の備えに重点を置いた減災のまちづくりのため、市内小中学校の校舎の耐震化を平成24年度で100%にするともに、学校体育館の避難所としての機能強化、消防施設の整備、防災士による指導体制の組織化、手づくりハザードマップの作成支援、自主防災組織育成助成事業の拡充を進めます。

次に、「情報発信をデザインするまち」です。健康、医療、子育て、教育、地域活動など市民に欠かすことができない情報を蓄積し、これらを市民の共有財産としていくためには、行政が積極的に情報提供をし、受け手がより分かりやすく情報が得られる環境を整備することが暮らしの安心につながって参ります。また、

「もったいない」を伝えたい… 美和幼稚園で 楽しく学べる「エコ教室」

「もったいない」を合言葉に、豊かな環境を守る大切さなどを伝える「もったいないグループ」のみなさんが、2月2日(木)、美和幼稚園を訪れ、園児たちに環境をテーマにした「紙芝居」など、楽しみながら環境について学ぶことのできる「エコ教室」を開催しました。



エコかるたを楽しむ園児たち。「けしわすれ、みえないテレビがかわいそう」と読みあげられると、子どもたちは「はいっ!」と元気よく札をとっていました。

また、園児たちは、グループのみなさんがつくった歌「もったいないソング」を合唱し、「食べ残しはやめる」「電気は忘れず消す」「古くなっても修理して使う」ことを約束しました。



「もったいないグループ」のみなさん
「これからの人に伝えたい!」



「もったいないグループ」のみなさん

市民生活に密着した地域情報や商工業観光、イベント情報を容易に得られる機能を充実させます(コミュニティFM放送の開局を支援して参ります)。

最後に、「循環型社会をデザインするまち」では、地球温暖化問題への対策と同時に、ごみの発生抑制・再利用・ごみの再生利用すなわち循環型社会の形成が必要であると考えています。

さらに、地域の75%を森林が占める丹波市では、持続可能な木質バイオマスエネルギーの推進が、荒廃が進み、多面的・公益的機能に支障をきたしている森林や里山の再生・林業振興につながり、環境問題の解決へもつながる有効な手段の一つであると確信し、「森林再生」につながる施策を展開して参ります。

また、太陽エネルギーは、地球温暖化の原因である二酸化炭素を排出しないクリーンなエネルギーとして有用な資源の一つです。太陽光発電や太陽熱利用システムの設置補助金制度を設け、自然を利用した「エコのまち」丹波市を市民と協働で推進して参ります。

そして、仮称「丹波市クリーンセンター」の建設は、「安全・安心」「循環型社会の形成」「地域と共生」する施設を整備の基本理念として、平成27年4月1日の供用開始に向け、整備を進めて参ります。以上、平成24年度施政方針として丹波市をデザインいたしました。市民のみなさん方の引き続きご理解ご支援いただきますようお願い申し上げます。